



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -



～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

活力漲る楽しいロータリー

世界へのプレゼントになろう

2015-2016 R.I.会長メッセージ

第1169回例会 2015年7月1日 No.1138号

■ 会長時間



会長 川中 敬三

(※下記の「会長就任挨拶」をご覧ください)

今回の例会(7月8日)

臨時総会
決算報告・事業計画・予算説明

次回の例会(7月15日)

理事・役員就任挨拶

幹事報告(高野幹事)

■BOX配布物

- ・カバナー一月信最終号と7月号、ロータリーの友7月号を配布しておりますので、お持ち帰りください。
- ・インターシティ・ミーティング報告書を配布しております。
- ・会員証を配布しておりますので、昨年のは破棄してください。
- ・ナイター野球観戦家族会のご案内を配布しております。出欠は、ハガキにてお願い致します。
【とき】8月21日(金) 17:45～【※8/19(水)例会変更】
【ところ】マツダスタジアム

■例会変更

- ・広島安芸RC「創立24周年記念夜間例会」
【とき】7月14日(火) 18:30～【※同日変更】
【ところ】ホテルグランヴィア広島

■休会のお知らせ

- ・7月16日(木) 広島北RC

■お知らせ

- ・次週の例会は決算報告・予算説明となりますので、ご出席下さいませようお願いいたします。

出席報告 (例会運営委員会)

7月1日(水)出席者

会員総数	52名
出席会員	42名
欠席会員	10名
ご来賓	0名
ご来客	2名
ゲスト	0名

来客者紹介 (親睦家族委員会)

7月1日(水)出席者

広島RC	1名
広島東南RC	1名



.....SMILE BOX

川中敬三 会員、武田龍雄 会員、高野憲一郎 会員、
船場誠吾 会員、吉田尊禮 会員

本日より2015-2016年度が始まります。無事 完遂できます様
三役力をあわせてがんばります。皆様方のご支援を何卒よろ
しくお願い申し上げます。

堀江正憲 会員

本日から国際ロータリー第2710地区広島陵北ロータリークラブ
2015-2016会長川中敬三様、理事・役員の皆様のご活躍と創
立25周年の成功を祈念申し上げます。前年度の皆様大変お
世話になりありがとうございました。

森川和彦 会員、大場常幸 会員、鈴木大次郎 会員

最終夜間例会では、つたない演奏を聞いていただきありがとう
ございました。また、練習をしますので、次回もよろしくお願
い致します。

当日計	35,000円	累計	35,000円
-----	---------	----	---------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】川中 敬三 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】高野 憲一郎 【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【FAX】082-221-4870

会長就任挨拶(1/2)

会長 川中 敬三

1. 私とロータリー

ロータリークラブを認識したのは、高校時代父親が広島北ロータリークラブに設立発起人として関与してから、ロータリークラブが経済団体の一つとして、世の中に存在し、その活動は奉仕活動をする団体だろうということぐらいの思いでした。

ある時、父親にロータリークラブは何の活動をするのか聞いたところ、奉仕、その中においても職業奉仕だとの答えでした。その後ロータリーの家族会に出席したことがありますが、あまり家庭内でロータリーの話をしたことはありませんでした。

私が大学一年か二年の時、父が上京してきて、今度ロータリーの会長をやらなきゃならなくなったので大変だと言っていました。会長職は大変なんだと思った記憶があります。

私がロータリーに入会するきっかけは、JCもほぼ終わろうとしていた頃、経済大学の石田副学長より、今後広島北RCをスポンサークラブとして広島陵北ロータリークラブを作るので、今回チャーターメンバーを探しているので、入らないかとお誘いがありました。

チャーターメンバーは推薦者がいないので特別な扱いだし、このチャンスは絶好な時なので、前向きに考えて返事をしてくれとの事でした。



2. 陵北ロータリークラブの生い立ち

広島陵北ロータリークラブの生い立ちを資料によってみますと、1989年8月弘田ガバナーが広島北RCを公式訪問された時、広島市北部方面に新クラブを設立してほしいと強く望まれたことがはじまりとあります。

1990年2月当時広島北RCの川村会長が理事会に新クラブ設立について諮問し、石田成夫(マサオ)会員を特別代表、そして岸本実行委員長、福田副実行委員長として具体的に動きはじめました。

地区ガバナーより委嘱状が出て、創立委員予定者をしほり、キーマン予定者や、クラブ名を広島陵北ロータリークラブとした経緯が記録されています。

3. 陵北ロータリークラブメンバーとして

広島陵北ロータリークラブが創立されたのは、1990年9月のことです。

広島駅ビル内広島ステーションホテルを例会場とし、毎週水曜日29名のチャーターメンバーでスタート、平均年齢45.6歳位の初々しさでした。

初代会長を二宮義人広陵高校理事長が就任され、幹事を南条装備工業の南条泰さんでした。ロータリークラブの基本は親睦(友情)と奉仕だと、それには、例会出席の義務が強く言われ、3年間ホーム例会全員出席をめざしました。

4. ロータリーとは

1905年、アメリカのシカゴでポール・ハリス外3名の友人が集まり、昼食を食べながら、諸般のじょうせいを話し合ったのが、はじまりとされています。

当初は、会員同士の親睦、事業上の利益の促進をめざし、一業種一会員の限定社交団体で定例会合を持ちまわりながらしたことで、ロータリークラブとしたそうです。

5. 現在のロータリークラブとは

我が国におけるロータリークラブは、1920年(大正9年)東京に創立された東京ロータリークラブで、世界では855番目のクラブとしての加盟でした。

現在、日本全体では2300以上のクラブで会員数10万人位いると思います。

組織としては、四大奉仕とか五大奉仕とか言われています。

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして新世代奉仕に大別され、奉仕とは、世の為人の為つくす事、善徳を積むということです。

会長就任挨拶(2/2)

奉仕の理想とは、自分に天職という使命を与えてくれた社会、また自分の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕え方即ち「奉仕」の基本として、個人生活、社会生活、及び職業生活において、利己的欲求を最小限にとどめ、最大利他の究極を求め続けていこうとする奉仕哲学のそのものです。国際ロータリーとして、奉仕、親睦、多様性、及びリーダーシップという5つの価値観をもっていて、特にリーダーシップとして「人々を価値あるゴールへ導く能力」「影響力」を高め合うという事を重視しています。

そこで、ロータリーの行動規範とかいうことになるのです。

陵北ロータリークラブが創立された頃には、ロータリーの綱領(現在目的)とロータリーの行動規範は額縁入りのものを皆、会社にかかげ、4つのテストはもとより、現在まで至っています。

このロータリーの行動規範について述べると

- ①全ての行動と活動において高潔性の模範を示すこと
- ②職業を奉仕に生かすこと
- ③全ての行動を倫理的に行うこと
- ④他社との取引において公正に務め、尊敬の念を持って接すること
- ⑤社会的に有用な仕事に敬意の念を持ち、これをささげること
- ⑥若い人々の為に自分の職業的才能をささげること
- ⑦ロータリーの評判を貶(おとし)めないこと
- ⑧同輩のロータリアンに特別の利益を求めないこと

以上、すごく細やかに厳しく自分を律する項目ばかりです。

6. 陵北ロータリークラブの今年度の方針

以上、色々話してまいりましたが、ロータリーは1年ごと、会長以下、幹事、理事が新任し、心を新たに会長方針に基づいて取り組むことを恒としてしています。

そこで、私は、今年度のクラブテーマをR、I会長方針、2710地区ガバナー方針等を鑑み“活力漲る楽しいロータリー”をスローガンとして1年間強いリーダーシップを発揮して取り組む所存です。

昨年来より、高野幹事、船場副幹事、吉田副幹事とは、鳴門や有馬へ出かけ来たるべき年に、どういう取り組みをするか、密に話し合い親交を深めてまいりました。

その中において今年度の大きなテーマは、まず9月12日(土)に行います創立25周年記念として記念事業、記念講演、式典、祝賀会の開催を無事に行い、陵北ロータリーとして内外に感謝の念を表したいと考えております。皆様のご協力を切にお願いする次第です。

そして、もう一点、2710地区ガバナー補佐として小川君、補佐付幹事として瀬川君を輩出しています。両君のさらなる活躍にむけてクラブ会員一同しっかりと援助していくことが大切であると思っておりますので、この点においても皆様の絶大なるご支援をお願いする次第です。

組織として、今年度私が特に念頭に置いたのは、25年経って一応一通りの形は成してきていますが、市内13クラブの中で、陵北の特出すべき点、得意とすることなどがあるかなと考えたところ、他クラブとの相違が明確ではありません。そこで、ガバナーより戦略計画をしっかりと立て、クラブの指針にちなさいと言われております。そういった点から、従前の長期計画委員会を長期ビジョン委員会として、3年後、5年後、さらに50周年のころのことまで議論して、明確な陵北らしさをだせる計画を作っていただきたいのです。

そのためには、将来、糧となる45歳～50歳すぎ位までの年齢の方々を5名以上入会者に迎え入れるべく努力し、将来へむけて進めていきたいと思っています。

最後に、50数名の会員の方々が陵北ロータリークラブをこよなく愛し、いつまでも力強く盛り上げていただけるよう正副会長はじめ三役他理事の方々と手を取り合せて「活力漲る楽しいロータリー」になるように努めてまいりますので、会員の皆様方のご協力、ご支援賜りますようお願いして会長のスピーチとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。